

(様式例)

令和6年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立大森第四中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

【第二学年】

- ・ICTを活用しながら、主体的で対話的な学びを広げ、作品に対する「読み」を広げる活動を継続した結果、説明的文章、文学的文章共に、「内容を読み取る」領域のスコアが目標値に対して大きく上回った。

【第三学年】

- ・ICTを活用しながら、主体的で対話的な学びを広げ、作品に対する「読み」を広げる活動を継続した結果、説明的文章、文学的文章共に、「内容を読み取る」領域のスコアが目標値に対して大きく上回った。

(2) 課題

【第一学年】

- ・「漢字の書き」領域が他の正答率と比べて低い傾向がある。

【第二学年】

- ・「文章を書く」領域が他の正答率と比べて低い傾向がある。

【第三学年】

- ・「文章を書く」領域が他の正答率と比べて低い傾向がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	目標値を少し上回っている。		
第2学年	目標値を上回っている。	(第1学年時) 目標値を大きく上回っている。	
第3学年	目標値を大きく上回っている。	(第2学年時) 目標値を上回っている。	(第1学年時) 前年度より少し下回った。

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の読み書きの能力や語彙力を育成するために、漢字練習の際には類義語や対義語など派生した学習を日々行う。	我が国の言語文化に関する事項がやや弱いため、古典作品に親しむ活動を重視し、より深い理解ができるような指導を行なう。	協働的な学びの機会を多く設定し、思考を広げ、深めるための時間を確保する。また、議論を生徒同士で展開し学びを深めていく力を高めていく。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の知識が不十分であり、発展的な学習や類義語や対義語など派生的な言葉も理解させていく。文法・語句の知識についても継続的に指導していく。	自分の考えを整理し書くという領域が他の領域に比べて弱いことから、理解したことをもとに、自分の考えを整理する活動を中心に行い、実際に自らの考えを文章で書くことも継続的に行う。	協働的な学びの機会を多く設定し、思考を広げ、深めるための時間を確保する。また、議論を生徒同士で展開し学びを深めていく力を高めていく。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の知識が不十分であり、発展的な学習や類義語や対義語など派生的な言葉も理解させていく。	自分の考えを整理し書くという領域が他の領域に比べて弱いことから、理解したことをもとに、自分の考えを整理する活動を中心に行い、実際に自らの考えを文章で書くことも継続的に行う。	協働的な学びの機会を多く設定し、思考を広げ、深めるための時間を確保する。また、議論を生徒同士で展開し学びを深めていく力を高めていく。